

第2次実施計画の各取組のとりまとめイメージ

取組全般に係る運営基盤に係る事業

- No.23 市民等の動物園の取組への共感を保全活動につなげる取組（基金やボランティア活動等の促進）
- No.24 経営基盤の安定化に関する取組（特別会計化導入可否等の検討）
- 第4章 施設整備（既存施設維持管理、北海道ゾーン等の老朽化施設の長寿命化計画策定、リニューアル計画策定）

1 動物福祉向上

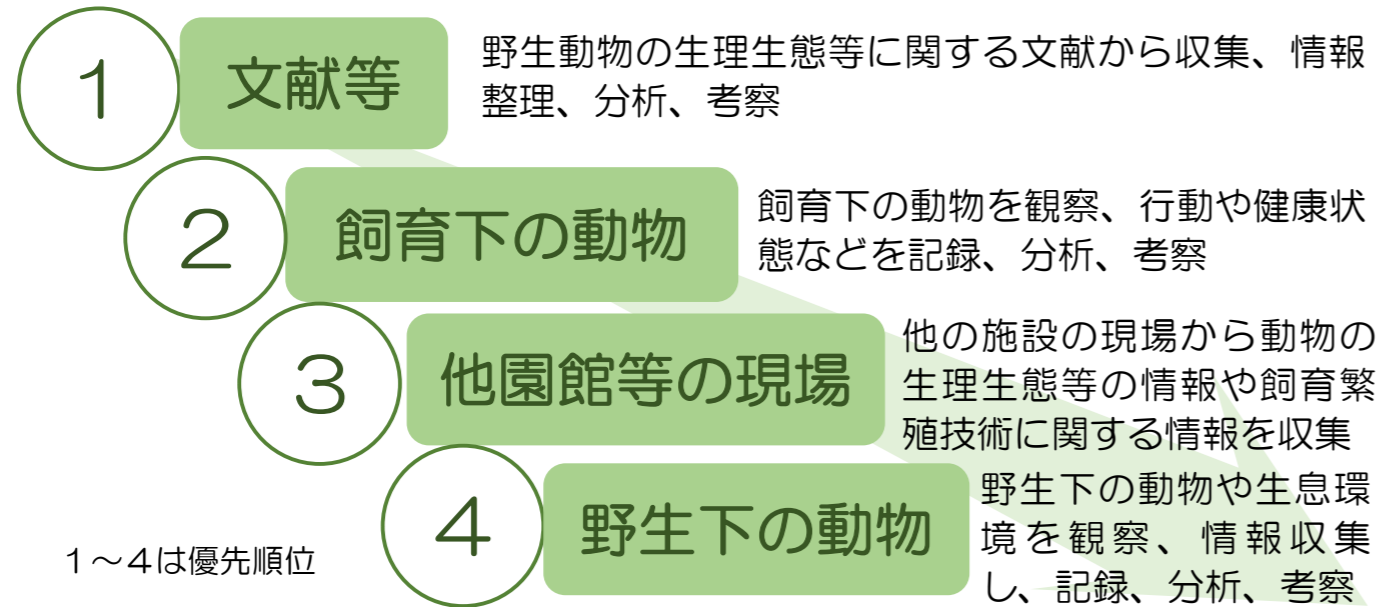
(1) 飼育・繁殖技術のさらなる習得と継承

良好な **動物福祉** を確保することができ、
保全 に資する飼育・繁殖技術の維持・向上

そのために…

知識技術のさらなる **習得** **継承** ※円山動物園の職員一人ひとりが習得するだけでなく組織としてノウハウを蓄積

(2) 知見の集積（調査研究）～動物・生息環境の知識を深める～



- No.11 動物園における調査研究と情報発信の推進（継続）
- No.15 アジアゾウ飼育技術向上・繁殖推進事業（継続）
- No.16 防疫及び特定動物に係る危機管理体制等の強化（継続）
- No.17 動物福祉向上強化事業（継続）
- No.18 獣医療に携わる職員の技術向上（継続）
- No.19 予防医学の観点に立った健康管理の取組（継続）
- No.25 人材育成（園内での研修、他園館との相互研修派遣等） **新規**（集約新設）

①文献・飼育下の動物からの知見集積

- No.11 動物園における調査研究と情報発信の推進（継続）
- No.15 アジアゾウ飼育技術向上・繁殖推進事業（継続）

②他の園館等からの知見集積

- No.25 人材育成（他園館との相互研修派遣、研究会等への参加） **新規**
- ※このほか日常の情報交換あり

③野生下の動物

- No.12 北海道の野生動物の調査研究（トガリネズミ類、コウモリ等）（継続）

2 伝える（伝わる情報発信）、保全の行動を促す

- 展示** 動物や掲示物（サイン）等を通して伝える、促す
- 教育活動** 教材の提供・ガイドやワークショップなどの教育プログラムにより伝える、促す
- 紙面・HP等** TV・新聞・雑誌、HP・SNS等で啓発

- No.5 ホッキョクグマ保全推進事業（継続）
- No.6 ガイドボランティアの接客及びガイド技術向上（継続）
- No.7 こども動物園機能強化事業（モルモット貸出事業含む）（継続）
- No.8 動物園の森の活用（継続）
- No.9 動物園教育推進事業（総合学習、円山ZOOガイド、教材・教育プログラム開発等）（継続）
- No.10 オランウータン保全教育プログラム **新規**

3 飼育・繁殖を種の保全につなげる（特に北海道産動物）

- 飼育展示する動物種** 円山動物園が何を目的にどの動物を飼育するのかを明確にする。
- 保全計画づくり** 生息域外保全をどのように実施していくかを明確にし、保全活動の実践の根拠となる計画を関係機関、団体と連携して作成する。
- 保全活動の実践** 保全計画に則り、市民・企業等に賛同が得られるよう普及啓発を行いながら、市民等と協働した保全活動を継続していく。

- No.1 北海道の野生動物保全事業（オオワシ、ニホンザリガニ、シマフクロウ）（継続）
- No.2 園内で排出されるごみの削減に向けた取組（継続）
- No.3 各施設における省エネルギーの推進（継続）
- No.4 さっぽろの動物園ステップアップ制度 **新規**
- No.27 飼育展示していく動物種の管理（継続）